

## 【学生セッション】

---

# 学生の学びから、新しくなった臨床実習を考える

### メッセージ

2020年から始まった「実習生が診療チームの一員として加わり、臨床実習指導者の指導・監督の下で行う診療参加型臨床実習」という新しい臨床実習の形に対して、多くの指導者が悩みや戸惑いを感じ、試行錯誤を繰り返していると思います。

このセッションでは、石川県内の養成校の協力を得て、今年度の臨床実習を経験した実習生がどのような経験をし、何を感じ、作業療法の学びを深めたのかを発表してもらいます。学生の率直な意見を聞くことで、私たち作業療法士が学生に提供した実習がどうであったかを振り返り、より良い実習方法・内容を考えるきっかけになることを期待しています。

### 発表者

- ・ 金沢大学医薬保健学域保健学類作業療法学専攻 4年

浦岡 莉子, 腰原 萌香

- ・ 専門学校金沢リハビリテーションアカデミー作業療法科 3年

林 勇之介, 石垣 美夢, 久志野 光

- ・ 金城大学医療健康学部作業療法学科 4年

上杉 嶺奈, 芝田 ゆめ, 工藤 風月

司会 桂 靖典 (木島病院)